



＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	小動物の飼育に関する知識		保育で扱う小動物の生態や飼育方法を述べることができる。	保育で扱う小動物を触ることができる。	保育で扱う小動物の生態や飼育方法を理解していて、環境をつくることができる。
ア②	植物の栽培に関する知識		種を蒔いたり、花や野菜の苗を植えたりすることができる。	適切な水やりの方法や支柱の立て方などを知っており、植物の世話ができる。	植物によって世話が異なることや、土作り・花殻摘み・人工受粉などの必要な世話ができる。
ア③	自然事象に関する知識		子どもに身近な自然現象とその名前を書くことができる。	身近な自然現象について、なぜそのような現象が起きるかを述べるができる。	身近な自然現象について、子どもにわかりやすく話すことができる。
イ①	保育の組立についての技能		自然を中心に保育を展開する際の組み立て方を知っている。	具体的に、どのような手遊びや絵本、製作活動、表現活動を組み立てることができる。	指導する際の、ねらいや配慮がわかり指導案を立てることができる。
イ②	自然関連の遊びについての知識・技能		自然に関わる歌・手遊び・絵本・製作活動を整理した資料を作成している。	資料にある歌を歌ったり、手遊びをしたり、絵本を読んだりすることができる。	模擬保育として、それらの遊びを指導することができる。
ウ①	ノートの整理能力		板書した内容を、整理して記録している。	聞いた内容も整理して記録できている。	自分の気付きや疑問に思ったこと、自主的に調べた内容や感想等も記録できている。
ウ②	観察記録の整理能力		課題に出された自然の観察記録が整理されている。	自主的に継続して観察し、変化を捉えた記録ができている。	自分の気付きや感動も記入している。
エ①	身近な自然に対する関心		身近にある自然に気付き、「自然発見カード」に記入している。	身近な自然の変化に気付き、絵と文で「自然発見カード」に記入している。	「自然発見カード」に疑問に思ったことや関連情報を調べて記入している。
エ②	五感を働かせた感性の練磨		身近にある自然に見入ったり、耳を傾けたり、触ってみようとするなどの行動をとることができる。	身近にある自然と関わる中で、発見を喜んだり疑問を抱いたりできる。	自然事象や自然物を擬人化し、自分の言葉や身体で表現できる。
エ③	共感性の開発		自分の発見や感動を他の人に伝えようとする。	他の人の発見や感動を知り、思いを共有することができる。	他の人の発見や感動を、自分も体験しようとする行動に移すことができる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					